

## 議会と語ろう会 実施報告書

開催日時	令和6年2月3日(土) 午前10時00分 ~ 午前11時58分			
開催場所	津幡地域交流センター ホール1・2			
出席議員 (16人)	八十嶋孝司	竹内 竜也	池野 翔吾	柴田 洋一
	東 克彦	中島 敏勝	小倉 一郎	小町 実
	西村 稔	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一
	向 正則	道下 政博	谷口 正一	河上 孝夫
役割分担	① 受付 : 塩谷議員・東議員 ② 司会 : 小倉議員 ③ 議会報告 : 小町総務産業建設委員長・向文教生活福祉委員長 ④ パソコン操作 : 柴田議員 ⑤ マイク係 : 中島議員・池野議員 ⑥ 事前質問報告 : 多賀議員 ⑦ 意見交換進行 : 河上議員・道下議員・多賀議員・塩谷議員・酒井議員 ⑧ 意見交換書記 : 小町議員・小倉議員・中島議員・柴田議員・池野議員 ⑨ 意見交換補佐 : 谷口議員・向議員・西村議員・八十嶋議長・竹内副議長・東議員 ⑩ 意見交換会マイク係 : 西村議員 ⑪ 報告書作成 : 中島議員・東議員			
参加町民人数	22人			
実施内容報告	(1) 開会 (10:00) 開会の挨拶 (2) 議会と語ろう会 第1部: 議会報告会 (10:04~10:38) ・議会の紹介 ・委員会審議の報告(総務産業建設常任委員会、文教生活福祉常任委員会) ・事前質問の紹介、回答 第2部: 意見交換会 (10:45~11:54) ・意見交換、意見の発表 (3) 閉会の挨拶 閉会 (11:58)			
意見・提言等	事前質問および意見交換会における意見・提言等(別紙参照)			
その他	アンケート結果(別紙参照) 配布物: 資料(式次第・レジュメ、意見交換会の進め方)、アンケート、お茶			

令和6年2月15日

津幡町議会議長 八十嶋孝司 様

津幡町議会議員 中島 敏勝

津幡町議会議員 東 克彦

## 議会と語ろう会

1、開会のあいさつ 津幡町議会議長：八十嶋孝司

2、第1部 議会報告会 10：04～10：38

◎津幡町議会の紹介 10：04～10：15

- ・議会のしくみ
- ・議員の定数
- ・議長・副議長
- ・通年議会の導入
- ・本会議
- ・委員会
- ・議会運営委員会
- ・常任委員会
- ・特別委員会
- ・二元代表制
- ・議会の権限
- ・議会の広報

◎委員会審議の報告

①総務産業建設常任委員会 委員長：小町 実 10：15～10：22

- ・令和5年度重点事業

津幡駅東口整備及び東西自由通路建設工事

サンライフ津幡長寿命化事業

井上小学校エレベーター設置工事等を行う小学校バリアフリー化整備事業

広場新設工事等を行う住吉公園整備事業

橋梁長寿命化補修工事

準用河川緊急浚渫推進事業

- ・7月豪雨による災害復旧・生活支援事業

「河北潟」国営総合農地防災事業

・能登半島地震による災害復旧・生活支援事業

・現場視察の報告

浄化センター・住吉中継ポンプ場等災害復旧

サンライフ津幡長寿命化事業

②文教生活福祉常任委員会 委員長：向 正則 10：22～10：30

・A I活用オンデマンドバス導入事業

「のるーと津幡」

概要、利用状況等

今後の運行区域の拡大について

・指導者用デジタル教科書教材

デジタル教科書の利点と活用について

指導者用デジタル教科書・学習者用デジタル教科書

◎事前質問の紹介および回答 担当：多賀 吉一 10：31～10：38

① 大河ドラマ誘致が成功した後の町の活性化方策について

② 津幡駅の山側を開発する企画の全容について

津波における浸水想定について

③ 過疎化、高齢化の問題について

④ 人口減少、子育て支援の拡充を含む少子化対策、定住促進策の充実について

⑤ 町有である野山団地などの法面の住民ボランティアによる草刈について

各種申請手続き等のデジタル化促進について

交差点標識等（キンシュレーへの経路案内含）の整備について

⑥ 河北中央病院の場所と耐震化について

⑦ 今年から施行された認知症新法に関連して認知症予防について

< 休憩 > 10：38～10：45

### 3、第2部 意見交換会

意見交換 10:45～11:30

意見の発表 11:30～11:54

#### 【1班】 進行：河上議員 書記・発表：小町議員

- ① 防災については、避難所の数の見直しなど防災に対する意識をもっと高めるべきである。空き家で不安定なものは早期に壊すなどの対策が必要である。
- ② 定住促進については、企業誘致と住宅をセットで。過疎地域には、ひとつの建物に小学校、公民館、その他いろいろな施設をまとめるようなコンパクトビレッジ構想はどうか。空き家の有効活用も検討するべきである。
- ③ 子育て支援は、かほく市にある天候に関係なく使用できる施設を参考にするべきである。
- ④ 高齢化対策は、シルバー世代が地域で仲間づくりをするためにも場所づくりが大切である。最近の高齢者はニーズが多様化しており、もう少しいろいろと考えるべきである。子どもとシニアの方が一緒に施設で時間を過ごす富山型デイサービスも有効である。
- ⑤ その他として、自宅からの出入りに支障が出ている。除雪車が除雪した後の雪の集積場所を工夫してほしい。観光予算が少ない。行政の窓口をもう少しシンプルにしてほしい。

#### 【2班】 進行：塩谷議員 書記・発表：小倉議員

- ① 防災については、町として災害をどの程度想定しているのか分からない。今回の大津波警報でも、どこへ避難していいのか分からなかった。避難防災訓練も今回の地震で生かされていない。備蓄品も届かず困った。
- ② 定住促進については、将来ビジョンが明確でなく、定住促進施策について周知もなされておらず施策内容も不十分。
- ③ 子育て支援について、もっと手厚く支援してほしい。小児科も少ない。
- ④ 高齢化対策については、隣近所がわからないなど日頃からのコミュニティ力が不足している。国民健康保険については、津幡町は将来高くないようにしてほしい。
- ⑤ その他について、町の未来ビジョンが見えない。水道料金が安い。住民の意見の受け皿がどこなのかははっきりしない。

【3班】 進行：多賀議員 書記・発表：池野議員

- ① 防災については、防災訓練の内容が、実際の災害の状況と合っていないのではないか。インフラ問題として断水に苦勞した。避難所の鍵を誰が管理しているのかわからなかった。情報が入らない、情報に辿り着けない。
- ② 定住促進については、津幡町の魅力を発信できていない。工場の誘致、飲食店の誘致をもっとしてほしい。転入時の助成金の周知方法等、若い人をもっと迎え入れるための工夫が必要である。
- ③ 子育て支援については、子ども見守り隊に少しでも補助金を出した方が良い。子どもの遊ぶ場所が減っており、公園遊具も増やして欲しい。ふわふわドームなど人気の遊具を中条公園などにも設置したらどうか。子育て世代のコミュニティの場が少なく交流の場を作るべきである。
- ④ 高齢化対策については、デイサービスのサービスについての情報が欲しい。高齢者施設を増やした方がよい。入所費用を安くしてほしい。お風呂券を増やしてほしい。中山間地の買い物を支援すべきである。ゲートボール場などが少なくなり使いにくい。
- ⑤ その他として、民間が撤退した後の大きな空き地をどうするか。津幡町のホームページ、LINE、メールで情報発信しても辿り着けない方もいる。除雪の問題。河北中央病院の移設の場所。

【4班】 進行：酒井議員 書記・発表：中島議員

- ① 防災については、訓練がイベントにならないようにしてほしい。水と電気を確保してほしい。住民としてできることのマニュアルがあったらよい。生活再建支援補助金の一部損壊の場合、近隣自治体に比べて津幡町の金額が低い。
- ② 定住促進については、近隣自治体より水道料金、地価が高い。生活支援金の金額を見直すべきである。
- ③ 子育て支援は、結婚推進に力を入れるべきである。保育所の充実等、お母さんが働きやすくなるのは定住促進にもつながる。義務教育の無償化。
- ④ 高齢化対策は、共同体意識を強化すべきである。元気なお年寄りを増やす。心、体、コミュニケーションという観点の対策が必要である。移動手段がなく買い物に不便な方でもタブレット端末を活用して買い物支援に役立てる。
- ⑤ その他として、不審者対策をしてほしい。大河ドラマの誘致は難しい。新駅も含めて見直したらどうか。議会と語ろう会の意見交換の進め方に対して、テーマを事前に考えておくように配慮してほしい。

【5班】 進行：道下議員 書記・発表：柴田議員

- ① 防災について、避難所にペットを同伴できる体制を取れないか。避難所の責任者が不在で統制が取れなかった。八反田川の水害対策を考えてほしい。災害専門の危機管理対策室を設けたらどうか。
- ② 定住促進については、助成金をもっと上げてはどうか。かほく市との助成金の違いをどうとらえているのか。若者世代への給付を増やせばよい。空き家対策として、災害対応として住宅に利用できたらいい。企業誘致だけでなく高齢化対策も含めて考えてほしい。中山間地の過疎化対策をしてほしい。
- ③ 子育て支援として、保育園は2人目から無償化する。子育て中の母親の困りごとを町政に反映してほしい。
- ④ 高齢化対策については、高齢者の生きがいづくりとして小中学生との交流の場を増やす。生活の利便性の確保として、のるーと津幡の周知を十分に行う。高齢者も情報を掴めるよう自ら学ぶ。
- ⑤ その他として、大河ドラマ誘致の見直しが必要である。校区の見直し。

4、閉会のあいさつ 津幡町議会副議長 竹内 竜也



## 議会と語ろう会 意見交換会の発言のまとめ

(1班 小町議員、2班 小倉議員、3班 池野議員、4班 中島議員、5班 柴田議員)

### テーマ1 防災

- ・ 避難場所の数や場所を再検討したらよい。
- ・ 避難所の施設管理はどうなっているのか。
- ・ 避難所を開設する手順が知られていない。
- ・ 町で備蓄している資材や物品の種類や数量の配布基準が不明である。
- ・ 避難所では、ペットを同伴できる体制の準備と告知をしてほしい。
- ・ 避難所には町の職員はいたが、リーダーが不在で統制が取れず、役割分担が不明確だった。
- ・ 災害直後、町の上層部や議員は災害現場を確認しにくるべきである。
- ・ 水や食料などの情報発信がない。「今準備しています」など状況だけでも伝えてほしい。
- ・ 津波警報が発令されても中条地区には避難できる高い場所が少ない。
- ・ 災害時の安否確認の方法がわからない。
- ・ 情報が入らない。連絡方法はどうしたらよいのか。LINE やメールの登録までたどり着かない。
- ・ 防災の意識レベルを高める必要がある。
- ・ 防災訓練のマニュアルを再検討すべきである。内灘町を参考にしてたらよい。
- ・ 行政だけに頼るのではなく、住民自身ができることマニュアル化しておけばよい。
- ・ 災害対策の優先順位、町の対策を町民に伝えてほしい。
- ・ 防災訓練、避難訓練を実践なものにしたらよい。
- ・ 災害が頻発しているので、専任の危機管理室が必要ではないか。元警察の署長などを招く。
- ・ 災害想定が国や県に任せきりである。
- ・ 建物を建築する際、災害でのリスクを明確に知らせてほしい。
- ・ 津幡川、八反田川の水害被害に対して、被災した住民に途中経過も含めて説明をしてほしい。
- ・ 八反田川の水害対応を考えてほしい。総門川の改修をしてほしい。7月の水害の復旧計画を要望しているが返答がない。
- ・ 地震による津幡川の水害被害はありえないのではないかと。高台への避難は不要ではないかと。
- ・ 川が氾濫したときの対応がわからない。
- ・ 堤の決壊が気になる。
- ・ 緑が丘の災害地域の対応策は何か検討されているのか。
- ・ 水害、地震と災害があったが、復旧の優先順位などどのように計画されているのか。
- ・ 生活再建支援補助金の一部損壊の額をアップしてほしい。
- ・ 被災した個人に対しての対応をどこまでしてもらえるのか？全て対応してほしいというわけではなく、出来ること、出来ないことをはっきり教えてほしい。
- ・ 空き家を災害対応住宅として町で利用できないか。
- ・ 危険な空き家を撤去したらよい。
- ・ 県の水道が被災したときの水の確保が重要である。浄水装置の準備をしたらよい。
- ・ 地下水や河北潟の水の活用をしたらよいのではないかと。
- ・ 津幡変電所の耐震性強化するか電柱を地下に埋設するなどインフラの確保を考えてほしい。



## テーマ2 定住促進

- ・ 町の将来ビジョンを示さないと定住促進につながらない。
- ・ 定住促進政策は、高齢者対策を含めて、中山間地の過疎化対策と中心地へのサービスの集中のことも考えてほしい。
- ・ コンパクトビレッジ構想をしたらよい。(半径1キロメートル以内に行政、福祉、商業などを集約)
- ・ コンパクトシティ化を推進したらよい。
- ・ 移住定住に関する支援制度をさらに拡充してほしい。
- ・ 転入時の補助は、町のホームページに辿り着かない。
- ・ 空き家の有効活用をしたらよい。
- ・ 企業誘致したらよい。雇用の確保、定住促進になる。
- ・ かほく市との助成金の違いをどうとらえているのか。若年世帯への給付を増やせばよい。
- ・ 水道料金の引き下げなど近隣自治体と比較して考える。
- ・ 緑が丘は区画が600世帯で限界でありこれ以上世帯は増えない。
- ・ 町のPRが不足している。
- ・ もっと若い人に発信してほしい。

### 3. 子育て支援

- ・ 子育て関連の助成制度を拡充したらよい。
- ・ 具体的な少子化対策をするべきである。
- ・ 先行モデル都市を参考に無償化や支援強化に取り組んだらよい。
- ・ 共働きの場合の対応策、2子以上の保育料の無償化または減額等、子育て支援の拡充をする。
- ・ 補助金は他の自治体と比べて対応する。
- ・ 保育園の開所時間の延長などサービスを充実したらよい。女性が住みやすいようにする。
- ・ 小児科医療機関を誘致してほしい。
- ・ 子育て母親の困りごと、悩みを聞くことが大切。
- ・ 公園をもっと遊べる場所にしてほしい。
- ・ 中条公園にもふわふわドームを設置してほしい。
- ・ 子どもが天気に関係なく遊べる場所を作してほしい。
- ・ 子育て世代にコミュニティの場を増やしてほしい。
- ・ 子ども見守り隊に報酬を出したらよい。
- ・ まず、結婚を推進するべきである。

### 4. 高齢化対策

- ・ 地域におけるコミュニティ力が不足している。若者世代との連携も含めた地域コミュニティの強化をしたらよい。
- ・ 小中学生との交流など高齢者の生きがい作りを行う。
- ・ 場所づくりとして、小人数で集まれる場所、散歩できる公園、男性高齢者の交流できる場所があったらよい。
- ・ 「富山型デイサービス」も参考にしたらよい。
- ・ 高齢者のニーズの多様化による縦割りの改善や他団体との連携強化。
- ・ 「のるーと」の周知は十分なのか。どのように計画されているのか。
- ・ 「のるーと」移動支援政策に高齢者がついていけない。

- ・ 緑が丘は、外出しにくい。
- ・ 地域の高齢化が加速度的に広がっているが、生活の利便性を考慮した対応策は検討されているのか。
- ・ 元気な年寄りを増やす。運動、文化活動、コミュニケーションを活発にする。
- ・ 75歳以上の高齢者にタブレット配布するなど、車がなくても住めるような政策をしてほしい。
- ・ 買い物支援をしてほしい。
- ・ デイサービスの情報がほしい。
- ・ 介護施設を増やしてほしい。
- ・ お風呂券を増やしてほしい。
- ・ 子どもが親の面倒を看ないのではないか。
- ・ 在宅介護の支援を手厚くしてほしい。
- ・ 民生委員の人選方法に問題がある。
- ・ 介護認定の条件を緩めるとみんなの介護保険が上がってしまう。
- ・ 国民健康保険料が高い。

## 5. その他

- ・ 町をどのように発展させるのか明確なビジョンを示してほしい。示されていても知らない。
- ・ 中心部へのサービスの集中化と過疎化が問題である。
- ・ 大河ドラマの誘致を見直したらよい。宿泊所がなく金沢等へ素通りしていくので効果が少ない。
- ・ 大河ドラマの誘致はいつまで続くのか？どこかで見切りが必要なのではないか。
- ・ 大河ドラマの誘致をやめる。NHKとのつながりは難しい。新駅設置も見直ししたらよい。
- ・ 観光予算の拡大をしたらよい。
- ・ 水道料が高い。
- ・ 除雪による排雪置場の問題がある。
- ・ 行政窓口のシンプル化したらよい。
- ・ 地域の配布物などの明確化や役割分担をするべきである。
- ・ 学校の校区について、住んでいる場所を拠点に最寄りの小中学校を乗り越えて、遠方の学校へ通学する子もいる。どこに相談したらよいか町と区の役割など分からない。
- ・ 不審者対策をしてほしい。子どもや女性を守る治安が大事。
- ・ バス停の表示をきちんと修繕してほしい。
- ・ 生涯スポーツに多様性を。活動場所がほしい。メジャーなスポーツに場所を取られる。
- ・ 健康づくりをもっと促進をする。
- ・ 融雪装置を増やしてほしい。除雪をもっとスムーズに行ってほしい。
- ・ 河北中央病院の建設予定場所はどこになるのか。
- ・ 庄区のパークゴルフ場をどうするのか。病院を持っていったらよいのではないか。
- ・ 議会事務局のホームページに意見を出せるよう検討してほしい。
- ・ 第1部で議会の各委員会の説明があったが、誰がどの委員会に属しているかわかるとよい。
- ・ この意見交換会のテーマを事前に知っていれば多くの意見が言えた。やり方を工夫してほしい。
- ・ 今回参加して本当によかった。
- ・ 次回開催されればまた参加したい。

## 津幡町議会報告会 意見交換会（ふせん紙記入）

### テーマ1：防災

#### ○1班

- ①避難訓練の重要性、連携
- ②町のマニュアルの整備等（参考：内灘）
- ③避難場所の数
- ④初期対応のルール化
- ⑤地域・行政の連携
- ⑥防災に対する意識を高める
- ⑦空き家対策
- ⑧うりがい池（堤）

#### ○2班

- ①津波想定と避難場所の設定
- ②津波避難所が少ない
- ③県の想定をうのみにしていいのか？
- ④防災計画に先立ち、起きた災害の実情と原因を調査し、情報を共通する方法を確立する
- ⑤ダンボールベッドはどこに、アルファ米はどこに、訓練内容の検討を

#### ○3班

- ①今回の地震で従来の訓練の内容では通用しない。再検討必要では
- ②インフラ問題
- ③公民館、小学校など、避難所の鍵は誰が開けるのか？
- ④情報が入らない
- ⑤連絡の入れ方、入り方
- ⑥災害時の安否確認は、どのように集約しているのか？

#### ○4班

- ①防災訓練について
- ②イベントになりがち、実践的な訓練
- ③川氾濫したときの対応
- ④避難訓練
- ⑤県水が被災した場合の水の確保（浄水器etc.）
- ⑥津幡変電所の耐震性の強化
- ⑦行政ができること、住民に要求することを分けてマニュアル作成
- ⑧生活再建支援補助金のアップ
- ⑨一部損壊

#### ○5班

- ①避難所の運営、ペット同伴できる体制の準備と告知を！
- ②責任者不在、4～5人職員はいたが、リーダー不在 ⇒ 統制がとれない
- ③八反田川の水害対応を考えてほしい
- ④総門川の改修
- ⑤7月の水害について、今後の復旧計画を要望しているが、返答がない

- ⑥平素の役割分担が不明確、課単位の役割 ⇒ 個人の役割
- ⑦情報発信がない。食料、水等、時間がわかれば、その旨不明の場合でも「今準備しています」だけでも広報
- ⑧専任の危機管理室が必要では（例：署長クラスの警察OB）
- ⑨緑が丘の災害地域（3丁目）の対応策は、何か検討されているのか
- ⑩水害、地震と災害がありましたが、修繕の優先順位はどのように計画されているのか

## テーマ2：定住促進

- 1班
  - ①空き家の活用
  - ②企業誘致
  - ③住んでよい町へ
  - ④コンパクトビレッジ
- 2班
  - ①津幡町をどのような町と設定しているか？ 基本プランは
  - ②個々人の利益、支援となる事業を！
  - ③津幡町に住む特典が少ない
  - ④コンパクトシティは必要では
  - ⑤安心できるようにする。土地、川、土砂崩れ、自然災害対策
  - ⑥町の熱意が感じられない
  - ⑦補助金がせこすぎる
- 3班
  - ①町のPR
  - ②工場の誘致活動はどうしていますか
  - ③飲食店を誘致してほしい
  - ④転入時の補助は？
  - ⑤若い人を入れる
- 4班
  - ①水道料金等の引き下げ
  - ②かほく市と内灘町との地価比較、いろんな点から
  - ③緑が丘600世帯、アップパー
- 5班
  - ①かほく市との違いをどう捉えているのか
  - ②若年世帯への給付をふやしてやれば
  - ③空き家対策
  - ④津幡町の空き家住宅の対応はどのようになっているのか。災害対応住宅として町で利用できないのか
  - ⑤企業誘致による定住促進
  - ⑥高齢者対策を含めて

### テーマ3：子育て支援

- 1 班
  - ①小公園の設備（芝生のみ）
  - ②無償化・援助強化
  - ③子供たちの集まる場所（天気に関係なく）
  - ④子供も高齢者も集まれる富山型のデイサービス
- 2 班
  - ①河北中央病院に小児科の開設
  - ②学童の無償化
  - ③高校生のJR通学費の補助
  - ④保育料の補助
  - ⑤予防接種の補助拡大
  - ⑥住人に子育て支援を求めるには、高齢者と女性活用で。人がいない！
  - ⑦種々の子供への対応。プライバシー、人権を守るべきだが
- 3 班
  - ①子供見守りにお金出してほしい
  - ②子供の遊び場所を中条公園にも設置（フワフワドームを）
  - ③コミュニティの場
  - ④公園を遊べる場所に
- 4 班
  - ①子育て支援以前に結婚推進
  - ②少子化、具体的なもの
  - ③昔は太白台の2/3だった
  - ④子育て支援の充実（義務教育の無償化）。他地域でうまくいっている所を確認
  - ⑤女性が住みやすいか？
  - ⑥保育所の充実（開所時間の延長etc.）
- 5 班
  - ①2子以上の保育料の無償化または減額
  - ②町の支援（補助金）は他と比べて劣っているのか
  - ③子育て、母親の困りごとを聞く
  - ④子供が多くなったときの生活支援策は何かあるのか。共働きの場合の対応策等
  - ⑤子育て支援の拡充

### テーマ4：高齢化対策

- 1 班
  - ①集まれる場所づくり（少人数）
  - ②男性（シルバー）の集まる場所
  - ③高齢者と子供たちとのふれあいの場をふやす
  - ④地区での仲間づくり
  - ⑤ゆっくり散歩できる公園

- ⑥高齢になっても班の世話係を強要されて他所へ移った人がいる。私たちがそうしなくては  
いけないのか
- ⑦ニーズの多様化 ⇒ 縦割りの改善、連携強化
- 2 班
  - ①国民健康保険の料率は、津幡町は高くないか
  - ②共助、近所とのつきあい
  - ③民生委員に働きやすい環境を！！
- 3 班
  - ①デイサービス、情報ほしい
  - ②施設をふやしてほしい
  - ③施設入居の費用を安くしてほしい
  - ④風呂券を年間20枚にしてほしい
  - ⑤コミュニティの場
  - ⑥買い物支援
  - ⑦体力維持
- 4 班
  - ①地域コミュニティ、若者世代もからめて
  - ②地域の連携強化策の充実
  - ③元気な年寄りをふやす（運動、文化、コミュニケーション）
  - ④タブレット端末の配布（75歳以上etc.）。車がなくても住める
- 5 班
  - ①高齢者教育
  - ②のるーと等のバス支援対策として、高齢者のA I 技術がついていかない。どのように考  
えているのか？ 緑が丘では外出もままならない。
  - ③高齢者の生きがいつくり ⇒ 小中学生との交流
  - ④のるーと津幡の周知は十分か
  - ⑤地域の高齢化が加速度的に広がっているが、生活の利便性を考慮した対応策は検討されて  
いるのか

#### テーマ5：その他

- 1 班
  - ①除雪車の雪置き場
  - ②観光予算の拡大（対 小矢部）
  - ③行政窓口シンプル化
- 2 班
  - ①水道料金は他の市町村に比べ高くないか？
  - ②民生委員の人は人格で選んでは？
  - ③議員・職員の意見・情報の活性化を！！
  - ④津幡町の未来設計の形が見えない。10年、20年の青写真（ビジョン）がほしい
  - ⑤J R 津幡駅、渋滞化
  - ⑥住民の不満、意見を聞く場所がない

○3班

- ①ペタンク、ゲートボール等の練習場所がほしい
- ②庄のパークグラウンド場、後をどうするか
- ③融雪、除雪の何か
- ④河北中央病院の場所、電気

○4班

- ①議会事務局のホームページに意見を収集する方法の検討
- ②意見交換会のテーマを事前に連絡してあったほうが、多くの意見が出る
- ③相談どこに、行政区の役割
- ④不審者対策、声掛け（子供、女性）
- ⑤大河ドラマ誘致の断念、新駅も？
- ⑥バス停の表示、年次更新整備

○5班

- ①大河ドラマ誘致を中止しては。宿泊場所がなく金沢等へ素通りしていくので効果が少ない
- ②大河ドラマ誘致はいつまで続くのか？どこかで見切りが必要なのでは
- ③地震による津幡川の浸水被害はあり得ないのではないか。高台避難は不要ではないか？

議会と語ろう会（議会報告会） ご質問・ご提言（事前受付）

	ご質問・ご提言	回 答
1	<p>大河ドラマ誘致が成功した後の町の活性化方策について伺いたい。</p>	<p>NHK大河ドラマ「木曾義仲と巴御前」の放送が実現できれば、全国の視聴者の皆様や評判により、町に多大な経済効果が期待できると考えており、議会としては、平成21年からNHK大河ドラマ誘致推進特別委員会を設置、議員全員が参加し、町と協力しながら実現に向け様々な活動をしています。</p> <p>木曾義仲は現在の木曾町（長野県）に生まれ育ち、信州から北陸、その後、京の都へ向かう途中での各地での活躍のドラマがあると考えており、一帯で縁のある自治体が協力しあって大河ドラマ実現に向け活動を続けています。</p> <p>石川県では、以前に「利家とまつ」の大河ドラマが全国的に人気を博したことがあります。その時の経済効果が約400億円とも言われ、そのドラマ効果による現在の“金沢人気”を考えると、我々の想像をはるかに超える知名度上昇効果があるであろうと考えられます。</p> <p>もし、大河ドラマ「木曾義仲と巴御前」が実現すれば、町に大きな経済効果が見込めると期待するのは当然のことであると考えられます。</p> <p>もう一つの効果として、大河ドラマがもし実現しなかったとしても、ふるさと津幡の歴史的価値を掘り起こし、新たな発見を通して町民が町の歴史を学ぶことと同時に、町の良さを感じることができれば、町への愛の醸成の一助となることも考えられます。</p> <p>町では、誘致成功後の活性化方策として、俱利伽羅地区において体験型観光交流公園の整備や俱利伽羅新駅の構想等、交流人口の拡大に向けた各施策に取り組んでいます。これらは大きな事業となりますので、議会としても適宜説明を求め、しっかりとチェックを行ってまいります。</p>
2	<p>①津幡駅の山側を開発する企画の全容を知りたい。 （どこを宅地にして、どこを企業誘致するのかなど）</p> <p>②津幡町で津波をどのくらい想定して対策しているのか。 （河北潟に水が流れ込んだとき）</p>	<p>①現在町では、定住人口、交流人口の増、町の活性化、発展のための最重要政策と位置づけ、津幡駅の東口の開発整備を進めています。令和2年3月会議の一般質問に対する町長答弁では、津幡駅東口から旭山工業団地方面への新アクセス道路の構想も示され、その実現によって、交通の利便性が高まり、周辺の面整備につながることで、石川工業高等専門学校と産学連携する研究型企業誘致や宿泊施設、また住宅団地の造成など、あらゆる開発の可能性が広まるということです。現時点では宅地や工業団地などの具体的な場所などは示されていませんが、これからの町づくりに関わる重要案件であり、議会としても将来予想等を踏まえ注視してまいります。</p> <p>②本年1月1日午後4時10分に発生した能登半島地震では、津幡町でも震度5弱を記録し、道路や上下水道などのインフラ等に大きな被害が生じました。また、能登地方に大津波警報が発令されたことで、多数の町民が津幡小学校グラウンドや石川工業高等専門学校などの高台に一時避難されました。平成27年3月会議の一般質問に対する答弁では、石川県が公表した津波浸水想定区域図によりますと、町では河北潟の東部承水路に堤防があるため浸水想定はほとんどないとされています。その後、県の想定も見直されていますが、町の浸水想定については大きな変更はありません。災害時の浸水想定は、町民の生命財産に関わることで、議会としてもこれからも慎重に確認してまいります。</p>



ご質問・ご提言	回 答
<p>意見&amp;質問</p> <p>1. 現状 私は俱利伽羅地区の上野に住んでいます。この地区は高齢化が進んでいて、上野の世帯主の平均年齢は75歳を越えています。</p> <p>2. 高齢化リスク このような高齢化が進むと、運転免許証の返納、運動機能の低下、病気などのリスクが高くなり、買い物、通院、草刈り、除雪・屋根の雪下ろしなどができなくなり、この地区での生活が困難になりますし、限界集落となって共同生活も維持することができなくなります。</p> <p>3. 行政の対応 津幡町には、この地区以外にも高齢化の進んでいる地区がかなりあるものと思われますが、行政としてどのような対策を考えられているのかご教示ください。 *以下は参考に記載してみました。</p> <p>①：対策の参考</p> <p>①-1. 過疎地域へのタブレット端末の配布(又はスマホのアプリ)⇒買い物手配・配送(店舗と提携)、交通手段の予約、その他生活全般の手配を可能に～徐々にできるようにしていく。</p> <p>①-2. 「のるーと」範囲の拡大、タクシー券の配布、ライドシェアなど⇒通院、店舗での買い物～タブレット予約</p> <p>①-3. 人材派遣、ボランティア⇒草刈り、除雪・屋根の雪下ろし～タブレットで予約</p> <p>①-4. 訪問診療⇒タブレット予約</p> <p>①-5. 過疎地の集約化、コンパクトシティなど</p> <p>②：実現プロセスの参考</p> <p>②-1. 第三者機関(石川高専など)に委託による提言</p> <p>②-2. 他地域で上手くいっている行政の手法収集(日本、世界)</p> <p>②-3. 超党派の議員による専門部会の設置</p> <p>②-4. 役場内に対策課の設置</p> <p>②-5. 区長会からのニーズの収集⇒成功のポイント： ②-1、②-2項の基本路線を崩さず、それを②-3項で具現化して、②-4項に渡す。 最終的にはトップの決断。</p>	<p>過疎化、高齢化の問題については町としても大変苦心している大きな問題であります。議会としても一般質問やその他の機会を通して多くの意見を町に届けていますが、根本的な課題解決には至っておらず、今後の課題となっています。</p> <p>以下に「対策の参考」「実現プロセスの参考」をいただきました内容等については、今後議会としても参考意見ととらえて、町への一般質問や提言へと繋げていきたいと思えます。</p> <p>①-1. 過疎地域へのタブレット端末の配布と活用について、現実的な対応が可能かどうかを含めて議会で情報共有していきたいと考えます。</p> <p>①-2. 「のるーと」の運用範囲の拡大について、昨年12月4日から運用を開始した「のるーと津幡」は、当面試験的に街中を中心に運用しているが、その結果を見て、時期は未定ですが、将来的には中山間地への運行も視野に入れていると聞いています。</p> <p>①-3. 人材派遣について(草刈り、除雪、屋根雪降ろし)、議会として、今後の参考意見とさせていただきます。</p> <p>①-4. タブレット端末で予約し、訪問診療をについて、議会として、今後の参考意見とさせていただきます。</p> <p>①-5. 過疎地の集約化や、コンパクトシティ化について、過疎地域の集約化については、議会で参考意見とさせていただきます。 なお、コンパクトシティ化については、過去に一般質問がありました。町長は考えていないとの答弁でした。</p> <p>②-1. 意見を聞く先として第三者機関(石川高専など)に委託し提言を求めることについては、町としては、すでにいろいろな形で石川工業高等専門学校に協力をいただいています。</p> <p>②-2. 他地域で成功例を勉強する為の情報収集を(日本、世界)については、議会としては、議会常任委員会やその他の委員会、特別委員会などで、専門的な情報等を収集勉強するための機関と予算を有しています。町内視察や、県外視察や視察研修会などに積極的に参加しており、今後もさらに積極的な個々の意識の向上を図って行きます。(世界に視察に行くまでの予算は無い。)</p> <p>②-3. 超党派の議員による専門部会の設置を提案することについては、議会では、会派制を設けておらず、情報交換は自由にできる状況にあります。</p> <p>②-4. 役場内に対策課の設置を提案することについては、議会の中で意見を共有していきます。</p> <p>②-5. 区長会からのニーズの収集(成功のポイントとして)については、執行部では区長会の組織と細やかな連携がとられているものと考えています。 また、②-1～②-5までの連携を取りながら政策実現を、について、執行部と議会が綿密に連携を取りながら政策実現に向けて今後も取り組みます。</p>
<p>4</p> <p>ここ10年ほど津幡町の新生児数は250人、かほく市は300人程度と聞いている。さらに、津幡町で生まれ育った新婚世帯は子育て支援などがかほく市の方が充実しているとして、かほく市で新居を建てる流れが加速していると感じた。たしかに、ここ近年かほく市は新しい若返った町になっていると感じる。金沢からのアクセスは津幡のほうがよいのに流出が進むことに危険感を感じる。定住・子育て支援を思いきるべきではないか。</p>	<p>人口減少のひとつの要因として少子化が挙げられます。これが進行すると人口構成のバランスが崩れ生産年齢人口にも悪影響を及ぼし、税収の不足や競争力の低下、地域社会の機能不全にもつながりかねない問題であると認識しています。議会においても一般質問などを通じ、人口減少、子育て支援の拡充を含む少子化対策、定住促進策の充実を求めてまいりました。引き続き危機感を持って、移住・定住促進、子育て支援に資する方策を検討し、必要な提言を行ってまいります。</p>

ご質問・ご提言	回 答
<p>5</p> <p>①野山団地の草刈対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野山団地は、昭和44年の入居開始以来50年以上経過し、この間居住者の世代交代・高齢化が進み、町内会行事の一環として毎年春秋に実施している団地内のり面の草刈作業は地域住民の大きな負担となってきた</li> <li>・のり面の一部箇所は10年程前から秋のみ受託業者が草刈を実施しているが、その他の箇所は70～80代の高齢者が中心となって作業を行っているのが現状で、急斜面の箇所も多く事故の発生を恐れ草刈を断念した人もいる。少なからず今後5年もしないうちに草刈放棄の斜面が多発する可能性が極めて高い。</li> <li>・のり面は町有地で本来は町が管理すべき土地である。いつまでも住民の善意に依存することなく、全面的に町が業者委託により管理するようご英断を要望する。</li> </ul> <p>②各種申請手続き等のデジタル化促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町のホームページから様々な申請方法等を検索できるが、申請書がPDFになっているものが見られるなど利用者の視点が欠けているのでは？</li> </ul> <p>【具体例】・語ろう会の送信フォームは最下欄をクリックするとつながるが、初めての方は見逃す可能性が高い。開催予定欄の下に配置する工夫が必要では？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震の罹災証明書交付申請書、被災届出証明交付届出書兼証明書は、申請書、記載例ともPDFで、申請書の様式には直接入力できない。電子申請サービスも利用できるが、写真や位置図等の添付が必要なのでせめて申請書はエクセルかワード様式が望ましい</li> <li>・グラウンドゴルフ場の利用申込をする場合、都市公園、農村公園とも申請書様式はともにホームページから入手できるが、都市公園はエクセルで入力できるが、農村公園はPDFのため手書き申請となる。担当課は隣接しているのに……。類似事例がないか庁内各課の総点検を行いパソコン入力できるように改善して欲しい。など</li> </ul> <p>③交差点標識等の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の交差点標識やバス停留所などの中には文字がかすれ読み取りにくい箇所が散見される。年次計画を策定して順次更新整備していただくよう望みます。</li> <li>・キンシュレーへの経路案内は、町外の方にも分かりやすい案内看板の設置を！</li> </ul>	<p>①春と秋に実施される「まちづくり美化大作戦」では、たくさんの町民の皆様にご協力をいただいています。</p> <p>野山団地、中津幡ニュータウン、グリーンハイツなどには町有の法面があり、住民のボランティアによる草刈りが行われていますが、場所によっては高所かつ急斜面での作業となり危険であることから、議会においても一般質問を通じ、業者への委託を含めた提案をしてきたところです。</p> <p>ご指摘の高齢化の進展による負担の増大については、議会としても問題意識をもっているため、環境美化の維持と住民負担の軽減を両立し得る方策を、関係する区長などのご意見も参考にしながら検討し、町に対し提言してまいります。</p> <p>②第6次津幡町行政改革実施計画に基づき、町では情報化等行政サービスの向上に資するべく、時代の要請と町民ニーズを的確に捉え、より柔軟な姿勢で、真に町民の臨むサービスの実施に努めるとしています。</p> <p>ご指摘の申請書のフォームについてですが、より使い勝手がよいものに改善すべきではないかのご意見を、町に対し伝えたいと考えています。</p> <p>また、当議会の送信フォームに対するご提案につきましては、議会事務局とも相談し、今後前向きに検討いたします。</p> <p>③安全・安心な道路環境を維持するため、交差点標識などを含め道路施設の安全管理は重要であると認識しており、議会においても町の対応を確認しています。</p> <p>町では、定期的なパトロールの実施や区長などからの連絡による対応のほか、日本郵便株式会社津幡郵便局との協定に基づき道路施設の異状に対する情報提供を受ける仕組みも整えています。</p> <p>議会としては、道路施設の改善など必要に応じ要望してまいります。</p> <p>河愛の郷キンシュレーは、河合谷の豊かな自然環境を生かしたプログラムを体験できる宿泊体験交流施設として、令和3年のオープン以来たくさんの皆様にご利用いただいています。町外から訪れる方におかれては地理に不案内なことも考えられることから、議会においても一般質問を通じ、わかりやすい案内看板の設置を求めてまいりました。</p> <p>幹線道路上の分岐点における看板等の設置などについて、今後も必要に応じ提言してまいります。</p>

ご質問・ご提言	回 答
<p>6</p> <p>河北中央病院の場所と耐震化について</p>	<p>河北中央病院の場所については、令和5年3月会議の一般質問に対する町長答弁では、新病院の建設に向けて、病院建設検討委員会などを組織した上で、基本構想や診療部門、建設場所の選定などを行うということでした。建設場所については、町民の皆様が利用しやすいよう、交通アクセスに優れていること、災害に強い土地であること、まちづくりに貢献できること、そして十分な面積の用地が確保できることなどの条件を総合的に判断し選定するというものであり、議会としても町民が使いやすい新病院となるよう、積極的に提言を行ってまいります。</p> <p>また、現在の河北中央病院は、平成4年に津幡地内で建設され約32年が経過していますが、平成23年には管理棟の耐震補強工事を行っており、地震に対する安全性を確保しております。新病院が建設される場合も、災害に強い場所であるか、耐震性及び安全性は十分に確保されているかなど、議会でしっかりとチェックを行ってまいります。</p>
<p>7</p> <p>認知症新法が今年（1月1日）から施行されました。国が本人や家族からの意見を反映し、基本計画をつくるとなっています。 法ができて、新薬ができて、一番大切なのは認知症にならないこと、予防が大切だと思います。みんなで考え行動できたらと望みます。</p>	<p>令和5年6月に成立した共生社会の実現を推進するための認知症基本法が、令和6年1月1日より施行されています。この法律は、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会、いわゆる共生社会の実現を推進することを目的とするものです。</p> <p>議会としても認知症の人の尊厳保持や共生社会の実現に向け、本法の成立にさきがけ、令和5年3月会議において「認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書」を全会一致で可決し政府など関係機関に提出しています。</p> <p>今後も、認知症予防はもとより、認知症になっても安心して暮らし続けられる町を目指し、必要な提言を行ってまいります。</p>

## 2024.2.3 議会と語ろう会(津幡地区) アンケート集計

回答数 20/22(人) 回答率 90.91%

- 問1 年齢
- |        |     |
|--------|-----|
| ①19歳以下 | 0人  |
| ②20代   | 0人  |
| ③30代   | 0人  |
| ④40代   | 1人  |
| ⑤50代   | 0人  |
| ⑥60代   | 4人  |
| ⑦70代   | 14人 |
| ⑧80歳以上 | 1人  |
| 無回答    | 0人  |
- 問2 お住まいの地区
- |         |     |
|---------|-----|
| ①津幡地区   | 16人 |
| ②中条地区   | 2人  |
| ③笠谷地区   | 0人  |
| ④井上地区   | 1人  |
| ⑤英田地区   | 0人  |
| ⑥河合谷地区  | 0人  |
| ⑦倶利伽羅地区 | 1人  |
| ⑧町外     | 0人  |
| 無回答     | 0人  |
- 問3 議会と語ろう会の開催は何でお知りになりましたか(複数回答可)
- |         |     |
|---------|-----|
| ①案内チラシ  | 12人 |
| ②議会だより  | 6人  |
| ③ホームページ | 1人  |
| ④ポスター   | 0人  |
| ⑤回覧板    | 3人  |
| ⑥その他    | 1人  |
| 無回答     | 0人  |
- 問4 今回の議会と語ろう会をどう感じましたか
- (1)第1部:議会報告の時間について
- |         |     |
|---------|-----|
| ①長い     | 0人  |
| ②短い     | 6人  |
| ③ちょうどよい | 13人 |
| 無回答     | 1人  |
- (2)第1部:議会報告の内容および資料について(議会・委員会審議について)
- |            |     |
|------------|-----|
| ①わかりやすい    | 11人 |
| ②わかりにくい    | 4人  |
| ③どちらともいえない | 5人  |
| 無回答        | 0人  |
- (3)第1部:事前質問に対する回答について
- |            |     |
|------------|-----|
| ①わかりやすい    | 11人 |
| ②わかりにくい    | 3人  |
| ③どちらともいえない | 6人  |
| 無回答        | 0人  |
- (4)第2部:意見交換会の内容について
- |            |     |
|------------|-----|
| ①とてもよかった   | 9人  |
| ②よかった      | 10人 |
| ③あまりよくなかった | 1人  |
| 無回答        | 0人  |

(5)議会と語ろう会の総合的な評価について

①評価する	17人
②評価しない	0人
③どちらともいえない	2人
無回答	1人

(6)議会と語ろう会にまた参加したいですか

①参加したい	15人
②参加しない	0人
③どちらともいえない	3人
無回答	2人

問5 議会広報「議会だよりつばた」で注目している記事はありますか(複数回答可)

①表紙	1人
②本会議記事	5人
③委員会審議	7人
④請願・討論	6人
⑤採決結果	5人
⑥一般質問	9人
⑦裏表紙	0人
⑧その他	0人
無回答	3人

問6 その他、本日の感想や議会、議会だよりへのご意見、ご提言等をご記入ください。

---

議員さんは皆熱心でよかった。  
でも、いつも具体的に進める立場であるため、津幡町という町を大きく俯瞰して考えることが少ないのかなと感じられました。  
私にはどのような町を目指しているのかが見えません。

---

参加してよかったと思いました。  
日ごろ思っていること、文句を言いたいこと、言わせてもらいました。  
次回も期待しています。

---

始めて参加しましたが、貴重な体験ができました。  
これからもこのような機会を設けていただければ参加したいと思います。  
参加者が高齢(失礼!)の方が多かったです。  
若い方が参加できるように、例えば一定の人数を住民票から無作為に選び、参加を促す方法などを検討したほうがよいのではないかと思います。  
今回、出た意見を議会で審議するとき、参加の案内を行ったほうがよいのではないかと思います。

---

ITの利活用を含めて情報収集に力を入れて、腰を軽く頑張してほしい。

---

町としての防災プラン、将来プランが不明確という意見が多数あった。

---

意見交換会は事前にテーマを示しておけば、より多くのアイデアが出る。  
次回の開催から見直してほしい。(当日の限られた時間では制約がある)

---

意見交換会の時間を検討。  
・テーマが多いのでは  
・1部の時間を少なくする

---

参加してよかった。

---

内容、時間ともによかった。  
今日の意見の反映を望みます。

---

時間が短い。(討論)

---